

平成29年度第2次豊川市地域福祉計画社会福祉協議会評価報告書（28年度実績評価）

No.	基本目標	事業名等	施策体系		今後の取組	評価	方向性
			重点施策	その他施策			
1	1 みんなでふれあい 学ぶ 絆と交流の場づくり	助け合い意識の啓発	1-1-②	1-2-①、2-1-① 2-3-①、 4-3-②	地域開催のまつりや地区市民館まつりなどにおいて、今後も地域福祉活動推進委員会の活動紹介等をパネルやPR備品を活用し行っていく。	B（良好）	継続
2		地域福祉活動推進セミナーの開催	1-1-②	1-2-①、2-1-① 2-1-②、2-3-① 2-4-①	地域福祉推進の理解者を増やすために、今後もセミナーを開催していく。	B（良好）	継続
3		福祉活動の冊子の発行	2-2-①	2-3-① 2-3-②	今後も地域福祉推進のためのテキストとして関係者に配布していくと共に、地域福祉活動紹介DVDを活用し市民や自治会へ地域福祉活動の理解を得る為PRしていく。	C（普通）	継続
4		社会福祉大会の開催	1-1-②	2-2-② 3-3-②	今後も「社会福祉功労者顕彰式」と3年に1回「社会福祉大会」の開催を継続し、地域福祉活動に対する理解を深めるため、社会福祉功労者の顕彰等に関し積極的なPRを行う。	C（普通）	継続
5		隣近所のふれあい推進事業の実施	1-1-②	4-3-②	社協ホームページやフェイスブックを活用して、本事業の積極的な周知を図り、応募者の増加を目指す。	B（良好）	継続
6		地域福祉活動費助成事業（公開プレゼンテーション）の実施	1-1-②	1-2-①	助成団体にも募金箱の設置や街頭募金の実施等、赤い羽根共同募金運動に協力してもらえるよう呼びかけを行う。	A（極めて良好）	継続
7		地域福祉学習体験プログラム（福祉実践教室の開催）の実施	1-2-①	1-2-② 1-3-②	地域の協力を得ながら、継続して実施する。	C（普通）	継続
8		ボランティア学習連絡会の開催	1-2-①	1-2-②	学校の都合もあると思うが、次年度も継続して実施していく。分かりやすい説明を検討していく。	C（普通）	継続
9		青少年ボランティア体験学習事業の実施	1-2-①	1-3-②	受入先として、福祉会やふれあいサロンなど地域に根ざした福祉活動団体を増やしていきたい。また、参加希望の少ない高齢者施設について、受け入れ側の体制についても助言していきたい。	A（極めて良好）	継続
10		ボラたま隊事業の実施	1-2-①	1-3-②	参加者を増やすため、PR方法や開催時期、場所などの検討を行う。	C（普通）	継続

平成29年度第2次豊川市地域福祉計画社会福祉協議会評価報告書（28年度実績評価）

No.	基本目標	事業名等	施策体系		今後の取組	評価	方向性
			重点施策	その他施策			
11	1 みんなであ ふれあい 学ぶ 絆と交流の 場づくり	子ども向け福祉啓発読本の発行	1-2-①		3年に1度、内容を見直し改定を行っていく。	C（普通）	継続
12		社協出前講座プログラムの開発・実施	1-1-②	1-2-①、3-3-② 3-4-①、3-4-②	地域の方のニーズに合わせ、新たなメニューを増やし実施していく。	A（極めて良好）	継続
13		地域ふれあい事業への助成・支援	1-1-②	1-3-① 1-3-②	今後も要援護者と地域住民との交流が図れるよう積極的にPRしていく。職員が施設等へ出向くなど、事業内容及び地域住民の参加状況を確認しながら支援を行っていく。	C（普通）	継続
14		ふれあい活動備品貸出事業の実施	1-3-①	2-3-② 1-1-②	多くの方に長く利用してもらうために、貸出時に機材の取り扱い等の説明を丁寧に対応する。また、備品の写真だけでなく、使い方もホームページに掲載しPRしていく。	A（極めて良好）	継続
15		ふれあいサロン等の設置に向けた推進	1-3-②	1-1-② 2-1-① 2-1-②	サロンを運営していく福祉委員やボランティア等、担い手の発掘及び人材育成に重点をおくとともに住民の介護予防意識を高める活動を行っていく。	B（良好）	継続
16		ふれあいサロン等の活動の支援	2-1-①	1-1-①、1-1-② 1-3-② 2-1-②、3-3-①	ふれあいサロンの運営を行う福祉委員やボランティアに対して、会の進行を補助するための「支援ツール」（ネタ本）の開発や後継者問題に対する研修会などの企画を検討していく。	B（良好）	拡大・充実
17		子育て相談支援事業の実施	1-3-②		西部地域福祉センターと東部地域福祉センターで継続開催していく。	B（良好）	継続
18		おもちゃ図書館の開設	1-1-②	1-3-②	おもちゃ図書館の中で講座を開催し、参加者を増やしていく。参加者の中から運営の協力を得られないか探っていく。	C（普通）	継続
19		家庭体験事業の実施（里親ボランティア）	1-1-②	2-2-①	引き続き対象児童があれば実施していく。	B（良好）	継続
20	高齢者福祉週間事業の実施	1-1-②	1-2-① 2-1-①	物配りの福祉とならないよう、「高齢者を敬う」だけでなく、「相談機関の周知」と「安否確認」を意識し、域見守りネットワークと結びつけた事業として実施していく。	C（普通）	継続	

平成29年度第2次豊川市地域福祉計画社会福祉協議会評価報告書（28年度実績評価）

No.	基本目標	事業名等	施策体系		今後の取組	評価	方向性
			重点施策	その他施策			
21	2 み ん な で 創 る 助 け 合 い 支 え 合 い の し く み	歳末助け合い事業の実施（見守り推進）	1-1-②	2-1-①	「相談機関の周知」と「安否確認」を意識した地域見守りネットワークと結びついた事業として引き続き実施していく。配付物の内容については協働団体である民生委員の意見を聞きながら考えていく。	B（良好）	継続
22		ふれあい電話訪問事業の実施	2-1-②	4-3-①	潜在化する利用者の発掘について民生委員や地域包括支援センター、コミュニティソーシャルワーカーとの協力体制を強化すると共にPR紙の掲示などをし、利用人数の増加を図る。また、不在時の安否確認方法の強化を図る。	B（良好）	継続
23		ボランティアハンドブックの発行	2-2-①	2-4-① 1-2-①	窓口で紙ベースのボランティア情報を希望された場合、愛知県社会福祉協議会が作成し配布されるボランティアハンドブックの活用を進めて行く。	—	廃止
24		ボランティアセンター事業の実施	2-2-①	2-2-② 4-1-② 4-2-①	社会福祉協議会の自主事業としてのボランティアセンター業務を推進していく。	C（普通）	継続
25		ボランティアセンター運営委員会の開催	2-2-①		活動者からの意見、要望を聴き、ボランティアセンターの運営に活かせるようにしていく。	C（普通）	継続
26		ボランティア連絡協議会の事業支援	1-1-②	2-2-①	ボランティア連絡協議会への加入促進に向けた取り組みへの支援と活動のサポート。	B（良好）	見直し
27		地域福祉活動者新任者研修の実施	2-2-② 2-3-①		地域福祉活動推進委員会の活動をより分かりやすく新任の福祉委員に情報提供していく必要がある。また、参加できなかった福祉委員や再学習したいという福祉委員に向けて、全体でもう1回開催するか、各地区のCSWで説明会を行うか等、きめ細かに対応する必要がある。	B（良好）	継続
28		地域福祉活動者フォローアップ研修の実施	1-3-①	2-1-② 2-3-①	地域福祉活動を広く推進していくために、携わる人の意識向上を目指した研修内容を検討していく。	B（良好）	継続
29		各種ボランティア・市民活動者向け・養成等講座の開催	2-2-①	2-2-② 3-3-②	制度の改正（通訳者の養成等）、地域のニーズ、既存のボランティアグループの現状などをふまえて、より参加しやすい講座の内容を検討する。	B（良好）	継続
30		シニア地域福祉デビュー講座の開催	2-2-①	1-2-① 1-1-② 2-2-②	次年度は内容を見直し、参加者増加を図る。平成29年年度以降は市から委託予定の生活支援サポーター養成講座と統合して、開講目的と講座修了後の活動内容をより具体的にすることでより多くの男性シニア世代を住み慣れた地域での活動に繋げる。	C（普通）	見直し

平成29年度第2次豊川市地域福祉計画社会福祉協議会評価報告書（28年度実績評価）

No.	基本目標	事業名等	施策体系		今後の取組	評価	方向性
			重点施策	その他施策			
31	2 みんな で 創 る 助 け 合 い 支 え 合 い の し く み	地域福祉活動推進委員会委員長連絡会・先進地視察研修会の開催	2-3-②	2-1-②	連絡会議で出た提言に対する具体的な対応を適宜考察する。	B（良好）	継続
32		民生委員児童委員活動の支援	3-1-① 1-1-②	1-1-① 2-1-②、2-4-① 4-3-①、4-3-②	福祉委員との連携など、民生児童委員が地域の問題解決に向けて活動しやすいような環境づくりを行う。各種研修会や自主事業の支援を行う。	B（良好）	継続
33		地域福祉座談会の開催	2-4-①	1-1-①、1-3-① 2-3-②、2-4-① 3-1-① 4-3-①、4-3-②	地域包括ケアシステムの構築を進める為、具体的な地域の事例などを示し地域福祉活動者が関心をもって話し合いができる場にしていく。	B（良好）	継続
34		地域福祉活動者交流会の開催	1-3-①	1-3-① 2-4-①、2-3-② 3-1-①、3-3-②	大勢の地域福祉活動者に参加してもらえるような内容で行う。	B（良好）	継続
35		老人クラブ活動の支援	1-1-②	1-3-① 3-4-① 4-3-①	老人クラブへの加入率が減少するなか、各単位クラブの実情把握に努め、老人クラブへ加入することのメリット等をPRしていく。高齢者の生きがい活動を推進していく。老人クラブ連合会事業について役員・理事の負担軽減を図る。	B（良好）	継続
36		障害者団体活動の支援	1-1-②		今後も各障害者団体活動の支援を行う。障害者（児）団体連絡協議会の規約整備や会計処理の見直しについて必要な支援を行っていく。	B（良好）	継続
37		障害者相談支援事業の実施	3-1-①	3-1-② 3-4-① 3-4-③	障害のある人の思いを受け止め、市福祉課をはじめ関係機関と協働しながら、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう取り組む。	B（良好）	継続
38	地域包括支援センター事業の受託実施	3-1-①	3-1-①、3-1-② 3-2-①、3-3-① 3-3-②、3-4-① 3-4-②、3-4-③	平成29年度は5カ所の出張所を新たに設置。相談窓口の拡大・充実を図りながら、新しい総合事業へ円滑に移行できるよう取り組みます。また、生活支援体制整備事業を豊川市から新たに受託。包括、CSW及び生活支援コーディネーター業務を一体的に実施することで、地域包括ケアシステムの構築を図ります。	A（極めて良好）	拡大・充実	
39	わかりやすい社協だより・社協ホームページの作成	3-2-①	1-1-② 2-2-① 2-4-①	「社協だより」は、「広報とよかわ」への折込みにより配付しているため、紙面や発行回数に制限がある。将来的に配布方法の見直し等、検討が必要である。平成28年度は、フェイスブックの公式ページを立ち上げ情報発信の強化を図った。今後は新たなSNSの導入や各拠点へのタブレット端末の配備など情報をより多くタイムリーに発信していく体制整備を検討する。	B（良好）	拡大・充実	
40	点訳・音訳・声のたより事業の実施	1-1-②	3-2-①	点訳、音訳が必要な視覚障害者への情報提供を引き続き実施する。潜在するニーズの掘り起こしのため、市と協働しPRを行っていく。	A（極めて良好）	継続	

平成29年度第2次豊川市地域福祉計画社会福祉協議会評価報告書（28年度実績評価）

No.	基本目標	事業名等	施策体系		今後の取組	評価	方向性
			重点施策	その他施策			
41	3 みんな で支 える 各 種 福 祉 サ ー ビ ス の 推 進	福祉車両貸出事業の実施	4-1-②	1-1-②	車両が古くなってきているので、新たに車両の買い替えを検討していく必要がある。家族と要介護者の積極的な交流を図ることができるように、ホームページ等で広く周知することが望ましい。	B（良好）	継続
42		福祉機器リサイクル事業の実施	3-5-①	1-1-②	市民に対して、本事業の理解を深めていただくために、今後も随時、社協ホームページを通じて情報提供を行っていく。	B（良好）	継続
43		移送サービス事業の実施	4-1-②		移送サービスを開始した当初と社会情勢が変わり、民間事業者が充実してきている。	—	廃止
44		車いす貸出事業の実施	4-1-②	1-1-②	さらなる利用者を増やすために、チラシ等を利用して関係機関へ周知していく必要がある。	A（極めて良好）	継続
45		生活福祉資金貸付事業等の実施	3-3-①	3-5-①	生活困窮者自立支援事業と連携を図り、コミュニティーソーシャルワーカーや民生委員児童委員と協働して、低所得者世帯等に対して生活福祉資金の貸付を行うことにより世帯の自立の促進を図る。	C（普通）	継続
46		新 在宅課題に対応した新規事業の開発			平成28年度にニーズ調査（市民・活動者アンケート）を実施し、必要なサービスを検討する。		継続
47		日常生活自立支援事業の実施	3-4-②	3-4-① 3-4-③	認知症高齢者の増加を背景に、本事業に対するニーズは着実に増えており必要に応じて本事業の利用につなげていく。また、依存症や浪費傾向にある方の家計管理を求められるケースが増え、対応する専門員等の充実が必至である。	B（良好）	継続
48		成年後見支援センター事業の実施	3-1-①	3-4-① 3-4-② 3-4-③	今後も相談件数の増加や第三者後見人受任のニーズが増加することが予測される。成年後見制度利用促進法を受けて、後見人の担い手の確保とともに、適正な利用につなげるため、行政、NPO法人、専門職等関係機関との連携を図る。	B（良好）	拡大・充実
49		福祉サービス・福祉施設情報の提供	3-2-①	3-5-① 4-1-①	市民が見やすい福祉サービス・福祉情報の提供を関係機関と相談し行う。	C（普通）	継続
50	4 さん な で ま い り ま つ つ く り に や	災害時に生かせる支え合いのしくみづくり	4-2-①		支援している組織が具体的に災害時を意識し繋がるよう日頃から声掛けを行う。仕組みや組織間の連携について行政とも調整を図り進めていく。	C（普通）	継続
51		災害ボランティアセンター（地域ボランティア支援本部）の設置	4-2-①		災害ボランティアセンターの立ち上げの際には、社会福祉協議会が初動体制を整える事が想定されている。災害ボランティアセンター研修は、大勢のボランティアに参加してもらえるように内容を検討する。	B（良好）	拡大・充実